

平成 23 年度春季放射線分科会幹事会議事録

日時 平成 23 年 3 月末よりメール審議

配布資料

1. 資料 1 平成 22 年度秋季放射線分科会幹事会議事録(案)
2. 資料 2-1 新幹事信任投票結果および役割分担案
資料 2-2 歴代幹事(2006 年以降)
3. 資料 3-1 放射線分科会 2009 年度の会計収支報告と 2010 年度の予算
4. **夏の学校**
資料 4-1 「第 22 回放射線夏の学校」実施予定について
資料 4-2 これまでの夏の学校開催地
5. 「学術講演会 シンポジウム」
資料 5-1 「2011 年秋季 シンポジウム」企画
資料 5-2 1989 年以降のシンポジウムテーマ一覧
6. 会誌「放射線」出版について
資料 6-1 会誌「放射線」の出版状況
資料 6-2 執筆要領
資料 6-3 A4 版テンプレート
資料 6-4 「放射線」投稿規定
7. 放射線賞について
資料 7-1 「放射線賞」規定および「放射線賞」選考規定改定案
8. 「募集分科の見直し」について
資料 8-1 「募集分科の見直し」について
9. 大分類分科再編について
資料 9-1 大分類分科再編について
10. その他
資料 10-1 放射線分科講演数の変化

議題

1. 前回議事録確認
資料 1 により平成 22 年秋季放射線分科会幹事会議事録の確認が行われ、了承された。
2. 幹事役割分担
資料 2 - 1 により信任幹事の役割分担が確認され、了承された。
3. 分科会会計報告
資料 3-1 により日塔会計幹事より 2010 年度の会計収支報告と 2011 年度の予算についての報告があった。

4. 第22回放射線夏の学校の実施予定について

今年度の幹事は東北大学の越水先生。震災の影響で、当初予定していた会場での実施が不可能になったが、越水先生のご尽力により代替会場を確保。

日時:平成23年8月1 - 3日。会場:仙台市 秋保温泉 岩沼屋 で実施予定。

5. 秋季シンポジウム企画

資料5-1より、企画説明。次回テーマは、

「広がる放射線・アイソトープの利用・応用

～新エネルギー・環境・医療・材料科学～」

次回より、申し込み時にテーマ選定の審査があることと、日程が初日の8/29に固定である旨、本部より連絡。テーマ的には問題ないと思われる。

既に申請済み。問題なく採択。

初日に、幹事会、放射線賞受賞講演と合わせシンポジウムを開催予定。

6 - 1. 会誌出版計画、編集進捗状況

資料6-1の通り平成23年号Vol.37のNo.2まで発行済み。No.3の編集進捗がやや遅れ気味であるが、なんとか間に合いそうな状況。

なお、No.4は今回の春のシンポジウム特集号で、シンポジウム自体は行われなかったものの、「放射線」には寄稿いただく。

6 - 2. 「放射線」執筆要領等の一部改訂

資料6-2のように執筆要領・投稿規定の一部改訂をしたい旨、幹事長・副幹事長より提案。

主な変更点は、投稿数の増加を狙い、レビュー論文、解説記事を追加。また、提出方法について電子ファイルで提出する旨明記(執筆要領との整合性を取るため)。以上の改定を了承。

7. 放射線賞について

資料7-1のように規定・選考規定を改訂したい旨、幹事長・副幹事長より提案。

。主な変更点は、3つ。

1. 審査対象の論文にAPEXを加える。

2. 記念品の盾の廃止。

3. 「放射線賞」と「放射線奨励賞」を区別して募集・選考する。

第17回の選考結果に関しては4/19メールで連絡済み。

以上の変更に関する改定について了承。

8. 「募集分科の見直し」について

既に秋の講演会の申し込みも済みですので事後報告ではありますが、

従来1.2放射線発生装置・理工学応用の講演が極端に少なかったため、募集分科を

見直しました。しばらく様子を見て、必要に応じて随時見直しを図りたい。

9. 大分類分科再編について

現在、大分類「2.計測・制御」と「18.応用物理一般」を統合再編し、「応用物理学一般」とする案が検討されている。

統合自体は、企画運営委員会では認められる方向で進んでいる。

問題は、大分類2と18を統合した後の新分類の番号をどうするかという点。

委員会から、新分類が1番として、放射線を2番とすると、他の分類の番号を変更

する必要がなく、混乱が小さいという案が出ている。これに関し、放射線分科会から意見を求められている。

当分科会としては、愛着もあるので反対したいところではあるが、現実問題としては

受け入れなければならぬような状況。継続して議論。

以上